

雨水出水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】

1 説明文

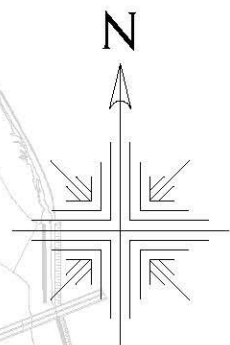
- (1) この図は、大雨による公共下水道や水路等からの溢水や、河川の水位上昇により河川に排水できずにマンホールから水があふれたりすることによる氾濫（「内水氾濫」といいます）について、水防法第14条の2第2項の規定に基づく雨水出水浸水想定区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。
- (2) この雨水出水浸水想定区域は、静岡市の河川や下水道の管渠（おおむね幅600mm以上）、雨水ポンプ施設等の整備状況などを勘案して、区域内において想定し得る最大規模の降雨（時間雨量147mm）により、下水道施設から浸水が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
- (3) この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、緑線枠内（市街化区域）のうちの着色された箇所です。
- (4) このシミュレーションの実施に当たっては、指定の前提となる降雨を越える規模の降雨、津波・高潮・河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
- (5) 河川が氾濫した場合や土地利用の状況、雨の降り方などによっては、着色されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定を超える浸水が発生する可能性があります。
- (6) 大雨の際はこの図で示した浸水以外に河川からの洪水や高潮による浸水の可能性もあるので、河川が氾濫した場合に想定される浸水を表した洪水ハザードマップ（洪水浸水想定区域図）や静岡市防災マップもあわせてご確認ください。

2 基本事項

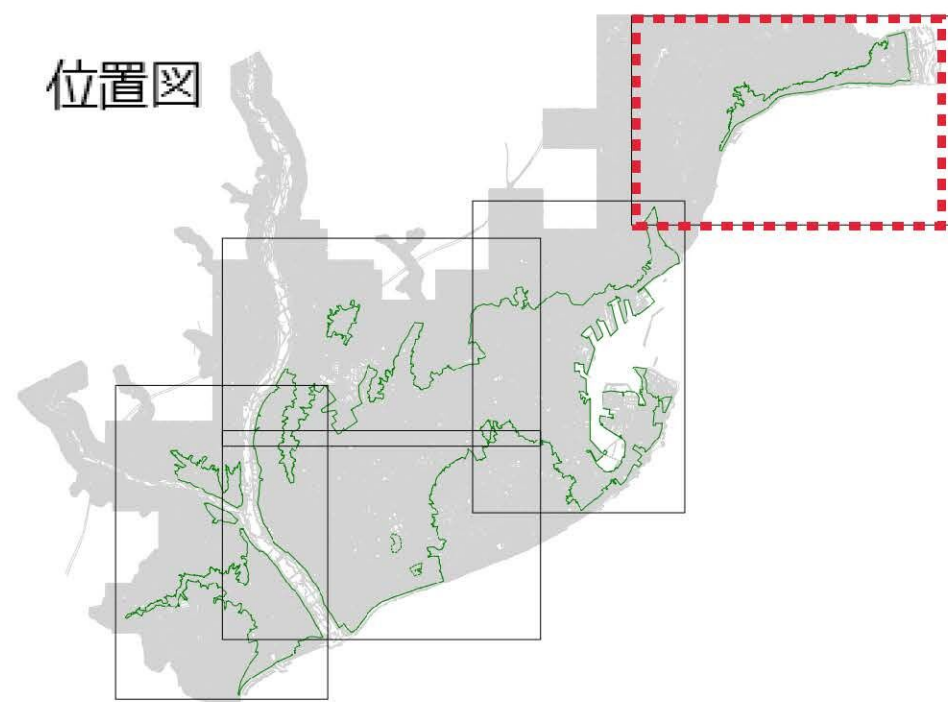
- (1) 作成主体 静岡市建設局土木部河川課
- (2) 指定年月日 令和7年7月1日
- (3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- (4) 指定の前提となる計画降雨 想定最大規模降雨（1時間雨量147mm）

3 備考

- (1) 浸水深を算出するために用いている地盤の高さは、国土地理院の基盤地図情報(5mメッシュ航空レーザ測量、2016年10月～2022年1月更新)を使用しました。
- (2) シミュレーションの実施にあたっては、対象区域をおよそ25m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として浸水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- (3) 背景図は静岡市都市計画基本図（2010年～2024年作成）を用いています。作成日以降で開発行為など様々な事業により建物、道路の配置が変わった場合、本想定と乖離がある場合があります。
- (4) 雨水出水浸水想定区域図において、長時間にわたり浸水するおそれのある場合（浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する場合）には浸水継続時間を表示する必要がありますが、静岡市においては、長時間にわたり浸水するおそれのある地区が存在しないため、浸水継続時間を表示していません。



位置図



凡 例

市街化区域

想定される浸水の深さ

- 5 m以上10m未満の区域
- 3 m以上 5 m未満の区域
- 1 m以上 3 m未満の区域
- 50cm以上 1 m未満の区域
- 30cm以上50cm未満の区域
- 10cm以上30cm未満の区域

500 0 500 1000 1500m

図面番号：NO.5